

お知らせ Information

配当金の口座振込指定のご案内

配当金の受取方法として、より確実、スピーディで便利な口座振込をお勧めします。

確実

配当金の受け取り忘れがありません

スピーディ

指定された口座へ  
支払開始日に受け取れます

便利

郵便局(ゆうちょ銀行)での  
換金が不要です

※配当金のお受け取り方法の変更につきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください。  
なお、特別口座に株式が記録されている場合、または、支払期間経過後の配当金がある場合は、みずほ信託銀行(☎0120-288-324)にお問い合わせください。

「復興特別所得税」に関するご案内

「復興財源確保法」(略称)の施行に伴い、2013年1月1日以降にお受け取りいただく配当金につきましては、所得税額に2.1%を乗じた額が「復興特別所得税」として追加課税されております。

	2013年	2014年～2037年	2038年～
所得税	7%	15%	15%
復興特別所得税	<b>0.147%</b>	<b>0.315%</b>	-
住民税	3%	5%	5%
合計	<b>10.147%</b>	<b>20.315%</b>	<b>20%</b>

※源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、国内法人の場合、住民税は徴収されません。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 毎年5月開催  
 基準日  
 定時株主総会 毎年2月末日  
 期末配当金 毎年2月末日  
 中間配当金 毎年8月31日

その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告 (http://www.furuno.co.jp)

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理人  
みずほ信託銀行株式会社  
 同 連 絡 先  
(お 問 い 合 わ せ 先)  
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-288-324  
(ご利用時間:土・日・休日を除く9:00～17:00)  
 お 取 扱 窓 口  
お取引の証券会社  
(特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)  
 特別口座管理機関お取扱店  
みずほ証券およびみずほ信託銀行  
 未 払 配 当 金 の お 支 払  
みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店  
(みずほ証券では取次のみとなります)



表紙絵画:須磨はじめ  
マリンギアライター。自ら描く  
著書の挿絵から水彩画の世界  
へ。プレジャーボートを素材に  
した作品が多い。



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用  
しています。



古野電気株式会社  
http://www.furuno.com



潮待ちの港「鞆の浦」(福山市)

## 景気回復の機運を追い風に 販売拡大と収益回復に尽力していきます

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、先進諸国で景気回復傾向が続いた反面、中国など新興国では経済成長が鈍化する傾向が見られました。米国では、住宅投資の伸びが顕著で雇用の回復が続きました。欧州では、南欧諸国の景気後退に歯止めがかかり、ドイツやフランスの高成長に支えられてユーロ圏全体では景気が底入れをしました。一方、アジア経済は、中国やインドで成長率が低下するなど停滞傾向が続いています。そうした中、わが国ではアジア向けの輸出が減少したものの、大胆な金融緩和対策や公共投資の効果により、景気回復が進みました。

当該期間の米ドルおよびユーロの平均為替レートはそれぞれ92円、124円で、前年同期に比べて米ドルは約16%、ユーロは約20%の円安水準で推移しました。

このような経済状況にあって、当社グループでは販売拡大に精力的に取り組んできました。その結果、主力の船用事業では、漁業市場向けの製品が大幅に売上を伸ばした反面、商船市場では新船建造やリプレース（換装）の需要が、プレジャーボート市場では当社の主要マーケット



代表取締役社長  
古野 幸男

である中大型艇の需要が停滞し、売上が伸び悩みました。また、産業用事業では、ETC車載器などの売上が減少しました。

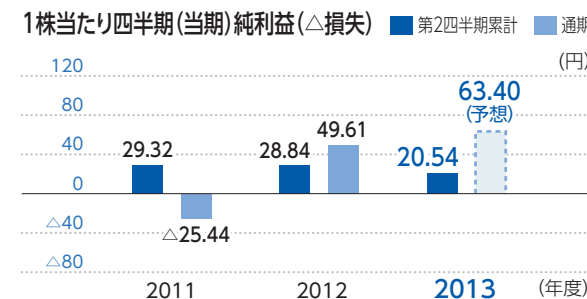
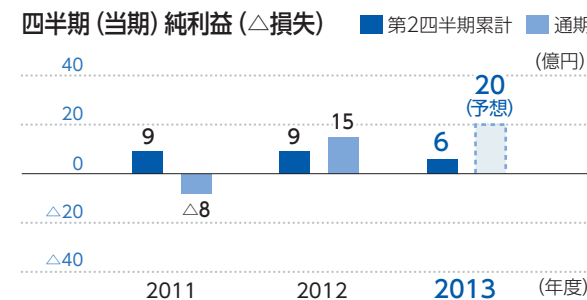
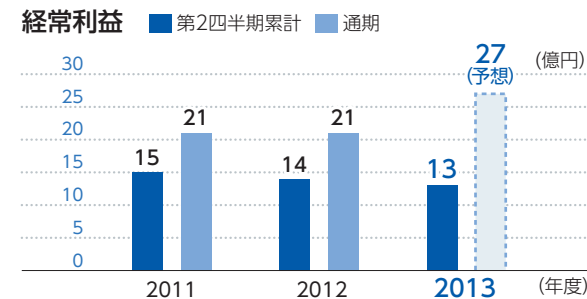
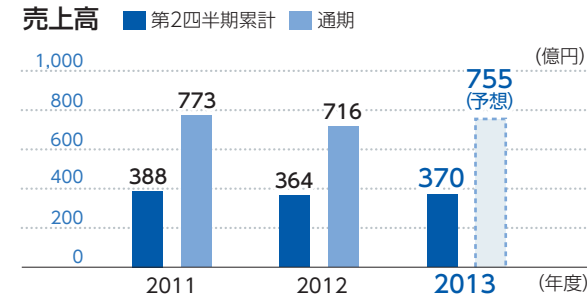
このように、苦戦が続く事業はあるものの、グループ全体での売上高は370億3,400万円と前年同期を上回りました。しかし研究開発費の増加などによって販売費及び一般管理費が前年より増えたため、営業利益は7億2,800万円にとどまりました。また、為替差損益の影響などにより、営業外収支が改善されたため、経常利益は13億4,400万円、四半期純利益は6億4,700万円となりました。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援助とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2013年11月

### 配当について

当期の中間配当金につきましては、1株当たり4円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり4円とし、年間配当金は1株当たり8円を予定しております。



### 四半期連結損益計算書の概要

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期 2012年3月1日から 2012年8月31日まで	当第2四半期 2013年3月1日から 2013年8月31日まで
売上高	36,451	37,034
売上原価	24,448	23,980
売上総利益	12,002	13,053
販売費及び一般管理費	10,904	12,325
営業利益	1,098	728
経常利益	1,405	1,344
税金等調整前四半期純利益	1,216	1,216
四半期純利益	909	647

### 四半期連結貸借対照表の概要

(単位: 百万円)

科目	前期末 2013年2月28日現在	当第2四半期末 2013年8月31日現在
流動資産	54,856	57,885
固定資産	17,815	18,303
資産合計	72,672	76,189
流動負債	25,874	27,883
固定負債	12,100	10,667
負債合計	37,974	38,551
純資産合計	34,697	37,637
負債及び純資産合計	72,672	76,189

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期 2012年3月1日から 2012年8月31日まで	当第2四半期 2013年3月1日から 2013年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,440	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,096	△1,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,408	2,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,914	11,300

※連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

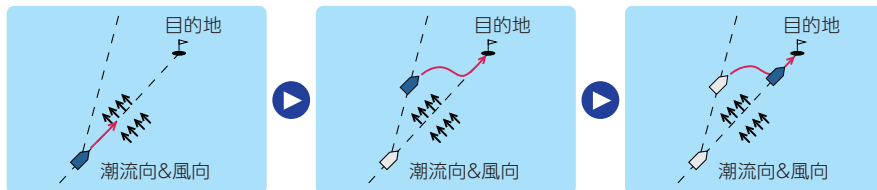
海底から宇宙まで  
FURUNO製品紹介

# 09

## オートパイロット (自動操舵装置)

海況だけでなく、船の特性も考慮して  
舵を自動でコントロール。

オートパイロットは指定された方位に船が進むよう、舵を自動でコントロールする装置で、大型のタンカーから小型のボートまで、さまざまな船に搭載されています。特に少人数でのボートフィッシングなど、操船から安全確認までを限られた人数で行う必要がある場合、自動操舵は極めて効果的です。フルノのNAVpilotシリーズは風や波、潮流など、千変万化する海況を自ら判断。さらに、形状や重量などによって変化する船の動きを記憶・学習する機能で、安定的かつ最適な自動操舵を可能にしています。



潮流や風の影響を補正しながら、設定された目的地へ最短距離で誘導します。

### オートパイロット NAVpilot-711

優れた自己学習機能で、コースのズレは0.01nm\*以下という高い精度を実現。中・大型艇はもちろん、小型ボートやヨットにも装備でき、フルノ製の航海機器や魚群探知機などと連携させることも可能です。

\*1nm(ノーティカルマイル)=1.852km

### 船用事業

売上高 299億8,400万円

#### 主な製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器



ブラックボックスタイプ  
マルチファンクションディスプレイ [TZTBB]

- 漁業市場向けの売上が、全ての地域で増加しました。
- 商船市場向けの売上は欧州で増加しましたが、アジアや国内で減少し、市場全体でも減少しました。
- プレジャーボート市場向けの売上は、米国では増加しましたが、景気の低迷が続く欧州では減少しました。

### 産業用事業

売上高 59億6,600万円

#### 主な製品

- GPS機器
- 医療機器
- ETC車載器



ETC車載器(アンテナ分離型) [FNK-M08T]

- 医療機器は、生化学自動分析装置の小型機は売上が増加したものの、大型機の売上が減少しました。
- GPS機器は全般的に低調で売上が減少しました。
- ETC車載器も売上が減少しました。

### その他

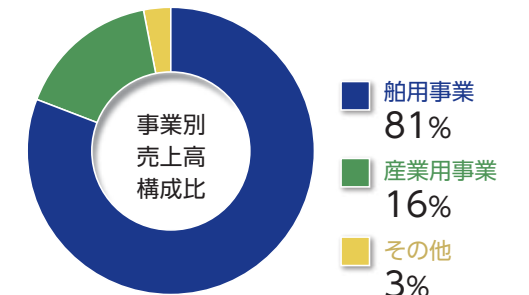
売上高 10億8,300万円

#### 主な製品

- 無線ハンディターミナル
- 無線LAN機器



無線ハンディターミナル  
[finpad smart]



※当社グループは、当期から事業別の区分を変更いたしました。

# 世界最小・最軽量級の 気象レーダーを開発

異常気象の増加が世界各地で問題となるなか、  
古野電気は世界最小・最軽量級\*の気象レーダーを開発しました。  
ゲリラ豪雨などの発生状況を詳しく観測できる技術を活かし、  
高度な防災・減災社会の実現に貢献します。

※二重偏波ドップラ気象レーダーにおける自社調査、2013年6月現在



## 「局地災害」の増加とともに高まる 小型気象レーダーの必要性

近年増加しているのが、ゲリラ豪雨や竜巻など、限られた地域で突発的に発生する「局地災害」です。このような突然の災害から人々の命を守るには、地域ごとの急激な気象の変化をタイムリーに観測する仕組みが欠かせません。そこで、全国的な気象の変化を観測する従来の大型気象レーダーとは異なり、雨雲の状態などをより詳細に観測できる小型気象レーダーの需要が高まっています。



写真：気象庁提供

大型気象レーダー

- 主に山頂などに設置
- 広域の雨雲の移動や台風、梅雨前線などを観測

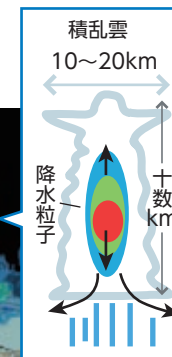
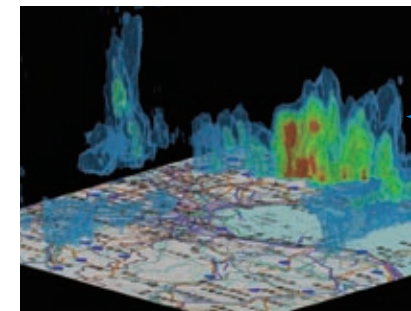


小型気象レーダー

- 主にビルの屋上などに設置
- 都市の浸水被害や土砂災害などの予測に

## ゲリラ豪雨をもたらす積乱雲の リアルタイム3次元観測が可能に

当社が開発した気象レーダーは、「WR-2100」と「WR-50」の2機種です。この2種類のレーダーを30km間隔で網目状に配置すれば、ゲリラ豪雨をもたらす積乱雲の移動速度や発達状況を細かく解析し、その情報を高精度な3次元観測映像として表示することができます。また、従来の気象レーダーには、近くの雨雲に遮られて遠方の雨雲を探知できない現象が発生していましたが、そのような課題も解決できます。



高精度3次元観測映像のイメージ。高度が十数kmにもおよぶ積乱雲の構造をリアルタイムで立体的に表示しています。

## 小型化により、設置にかかる コストや手間を大幅に削減

航海用レーダーで培った技術を応用したことで、当社は従来の気象レーダーに比べて大幅な小型化に成功しました。これにより、これまで設置場所や予算の都合で気象レーダーの利用を断念されていた地方自治体や研究機関、交通機関など、幅広い分野での活用が期待されます。ゲリラ豪雨の発生をより高精度に予測するシステムの実用化に向け、当社は今後も企業や大学との共同研究を進めてまいります。



ワンボックス車やエレベーターを使って運搬し、人力で取り付けることができます。

### 世界最小・最軽量級を実現!

小型Xバンド  
二重偏波ドップラ気象レーダー  
**WR-2100**

水平方向と垂直方向の電波を同時に送受信し、積乱雲の鉛直構造を解析。50m区分の雨の強さを、6秒間隔で360°探知できます。



### 雨雲の移動を高速に探知

小型Xバンド  
ドップラ気象レーダー  
**WR-50**

直径60cm、重さ約28kgで設置が容易な超小型・軽量タイプ。水平方向の電波を送受信し、雨雲の移動を高速に探知します。

# 安全・安心な航海に寄与する 船員向け教育サービス

航海機器の正しい知識と

確実な操作方法を身につけることが  
安全・安心な航海には欠かせません。

当社は多様なトレーニングサービスの提供を通じて、  
船員の方々のスキルアップをサポートしています。



## 需要の拡大にあわせて 世界11カ所に訓練施設を設置

2012年7月から船種・船型に応じて段階的に進められている「電子海図情報表示システム (ECDIS)」の搭載義務化に伴い、その使用方法を習熟するための訓練の必要性が高まっています。当社は2005年に「フルノINSトレーニングセンター」をデンマークに設置し、船員向けの教育サービスをいち早く提供してきました。需要の拡大にあわせて順次、拠点を拡充し、現在では世界10カ国・11カ所に訓練施設を設けています。



## 訓練施設では国際基準に準拠した 質の高いトレーニングを提供

「フルノINSトレーニングセンター」では、当社の航海機器の基礎知識から詳細な操作方法まで、幅広く学ぶことができます。講義のほかに操船シミュレーターを用いた実技もあり、緊急時の操船方法など様々なシチュエーションを疑似体験することが可能です。さらに、同センターはノルウェー船級協会・日本海事協会の認証を受けており、受講者は国際基準に準拠したトレーニングの修了証書を受け取ることができます。

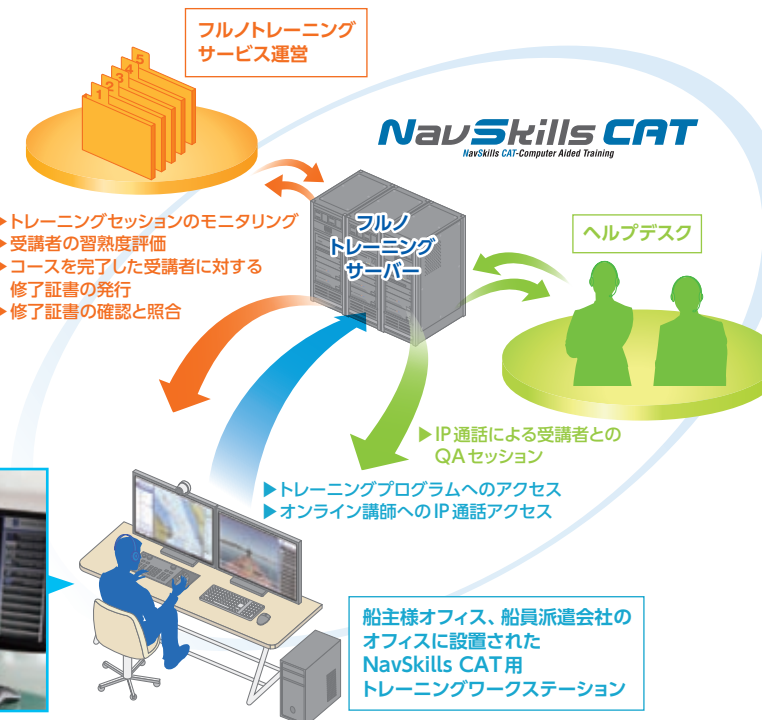


運行量や海況などを自由に設定できる操船シミュレーターを使い、実際の操船環境に近い環境でトレーニングを行います。

## いつでも、どこでも受けられる 通信教育サービスも開始

2012年9月からは、インターネット回線を利用した通信教育サービス「NavSkills CAT」も開始しました。このサービスではインターネットに接続できる環境があれば、いつでも、どこでも、常に最新の教育プログラムを受講できます。また、講師による個別指導や受講者からの問い合わせなどにも対応しており、訓練施設で受けるトレーニングと同レベルのサポートを提供しています。

会社のオフィスなどで受講できるので、訓練施設に直接出向く必要がありません。



## 韓国に「フルノコリア」を設立

2013年4月、韓国に海外子会社「フルノコリア」を設立しました。2011年末時点で世界第2位の商船建造量\*を誇り、第7位の実質船主国\*である韓国では、商船の保守・換装や、海洋資源開発向けの船舶の建造が本格化しつつあります。今後も需要の拡大が見込まれる韓国において、同社を含む海外子会社14社のグローバルネットワークを最大限に活用しながら、顧客に密着した営業活動を推進し、さらなる事業拡大を図ってまいります。

※いずれも100総トン以上の船舶



開所式の様子

## 「海の甲子園・2013西宮セーリングカップ」に特別協賛

8月31日～9月1日に新西宮ヨットハーバー沖で開催された「海の甲子園・2013西宮セーリングカップ」に特別協賛しました。このレースは、ヨット文化の育成を目的に2003年から毎年開催されており、今回は全国各地の中高生から大人まで約150人の選手が参加しました。当社は前回に引き続き、今後の活躍が期待される選手に「フルノ特別賞」を贈呈したほか、当社所有の実験船「ペガサス」を大会期間中のレース観覧艇として運航しました。



中学生で最も優秀な成績を残した男女2名に「フルノ特別賞」を贈呈

## 「ブラインドセーリング」プロジェクトの中止について

すでに各種報道のとおり、当社がオフィシャルスポンサーを務める「ブラインドセーリング」プロジェクトは6月21日、原因不明の浸水により、中止となりました。本プロジェクトは、米国在住のブラインド（視覚障害者）セーラー・岩本光弘氏と、ニュースキャスター・

辛坊治郎氏が、小型セーリングヨット「エオラス号」で太平洋横断に挑戦するもので、当社は公式スポンサーとして、各種航海機器の提供や設定調整・整備などの面で支援活動を行っていました。今回の事故により、本プロジェクトは中止となりましたが、当社としては、両氏が無事に帰還されたことに社員一同、安堵しております。

## 株式の概況/会社の概況

### ■ 株式の状況 (2013年8月31日現在)

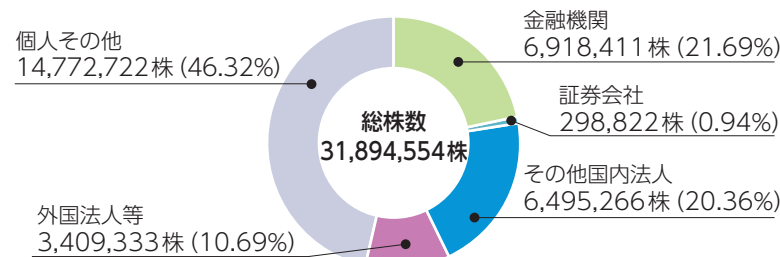
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
株主数	5,806名

### ■ 大株主の状況 (2013年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,400	13.95
古野電気取引先持株会	1,082	3.43
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱東京UFJ銀行	992	3.15
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	942	2.99
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4)	739	2.34
エコ興産有限会社	560	1.78
CREDIT SUISSE(LUXEMBOURG)S.A. ON BEHALF OF CLIENTS	525	1.66
古野清賢	500	1.59
古野電気社員持株会	441	1.40

※持株比率は、自己株式350,775株を控除して計算しております。

### ■ 所有者別株式分布状況 (2013年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式350,775株(1.10%)を含んでおります。

### ■ 会社概要 (2013年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
英文	FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
電話番号	0798-65-2111(代表)
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,830名(連結) 1,706名(個別)
生産/研究開発拠点	三木工場・フルノINTセンター(西宮浜)・西宮事業所
国内販売拠点	兵庫・北海道・青森・宮城・千葉・東京・石川・静岡・愛知・三重・和歌山・鳥取・広島・山口・徳島・愛媛・高知・福岡・長崎・宮崎・鹿児島・沖縄
海外拠点	アメリカ・イギリス・ノルウェー・フィンランド・デンマーク・スウェーデン・ポーランド・ロシア・ドイツ・オランダ・フランス・スペイン・ギリシャ・キプロス・中国・シンガポール・韓国

### ■ 役員 (2013年8月31日現在)

代表取締役社長	古野 幸男
専務取締役	森 博行
常務取締役	小池 宗之
常務取締役	井澤 亮三
取締役	和田 豊
取締役	石原 眞次
取締役	矮松 一磨
取締役	岡本 達行
取締役	西森 靖
取締役	大矢 智資
常勤監査役	坂井 譲
社外監査役	吉本 健一
社外監査役	小美野 廣行